

平成17年4月に農学部附属センターとして

菌類きのこ遺伝資源研究センター

が設置されました。

菌類きのこ遺伝資源研究センターは、自然生態系の維持、植物の成長促進やストレス耐性の付与、環境汚染物質の浄化など多様な機能を持つ菌類きのこに関し、高レベルで特色のある体系的な教育と研究を進めています。さらに、鳥取県からの寄附部門の開設と（財）日本きのこセンター菌茸研究所との連携により、産業の活性化や新産業の創出を目指しています。

